

新入生保護者向け 諸連絡

〔1〕Microsoft Forms を用いた遅刻・欠席連絡方法等について

遅刻・欠席の連絡は、Microsoft Forms で行います。Microsoft Forms を使った連絡はシステム上 24 時間可能ですが、集約をするために、当日朝の 8 時 20 分までにお願いいたします。

なお、課題考査、定期考査の日の遅刻・欠席連絡については電話による連絡に限定します。

【木曾川高校欠席連絡入力フォーム QR コード】



【木曾川高校欠席連絡入力フォーム URL】

<http://forms.office.com/r/andqWg7BM9>

木曾川高校のウェブページからでも入力フォームが利用できます。メニューの「生徒・保護者の皆様へ」→「欠席連絡入力フォーム」のページに、入力フォームに移動するボタンがあります。

〔2〕生徒の個人情報の取扱いについて

本校生徒の在学中に収集する個人情報については、「愛知県個人情報保護条例」に基づき適切に管理いたします。このことについてご同意いただけない場合に限り、一学期始業式までにクラス担任へお申し出ください。

1 取扱いについての基本方針

- (1) 「愛知県個人情報保護条例」に従います。
- (2) 不要になった個人情報は、速やかに廃棄します。

2 入学手続き時及び在学中に収集する個人情報

保護者氏名、生徒の組・番号・氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、保険証の写し、進学・就職先、顔写真、学校生活の様子を撮影した写真等の個人が識別できる情報、生徒が作成した成果物の画像(考査答案や学習プリントの回答も含む)、考査得点、欠席連絡、アンケート、模擬試験の成績

3 個人情報の利用目的

- (1) 生徒指導、健康管理に関する業務
- (2) 各種連絡
- (3) 愛知高等学校体育連盟等が主催する各種大会等への参加申し込みやプログラム等への掲載、入賞者の報道機関や広報誌への掲載
- (4) 学校のホームページやインスタグラム、広報誌等への掲載
- (5) 進路指導に関する校内資料の作成、志望校の分析及び外部機関への報告
- (6) 進学情報企業への進路先の提供
- (7) Microsoft Teams、ロイロノート、スタディサプリといったクラウドサービスでの学習等の支援
- (8) 採点ソフトによる考査等の採点・分析

4 個人情報を含む帳票等の例

学校案内、生徒指導個票、自転車通学許可願、健康管理カード、PTA 会員名簿、PTA 会報、進路の手引き、部活動登録カード、輩友(生徒会誌)、決意表明書及び同意書、同窓会会報、同窓会会員名簿等、ウェブページ、インスタグラム

[3]教育活動における生成 AI の利用について

1 学校での教育活動における生成 AI の利用について

県教育委員会では、「保護者の十分な理解の下、生成 AI を取り巻く懸念やリスクに十分な対策を講じることができる学校においては、児童生徒に利用させることができる」との方針を示しております。そのため、本校では、教員の研修や生徒への指導などの準備を進め、生徒が生成 AI を利用する教育活動を取り入れていきます。

つきましては、本校の方針に御同意いただけない場合に限り、教頭まで御連絡ください。

2 学校外での生成 AI の利用について

御家庭等でお子様に生成 AI を利用させる場合には、以下を御確認いただき、適切に御指導ください。

(1) 課題等での生成 AI の利用について

読書感想文やレポートなどの課題に対して、生成 AI による生成物やインターネットからダウンロードした作品を自己の成果物として提出することは、目指す学びが得られず、自分のためになりません。また、生成 AI の利用を想定しないコンクール等においては、不正行為とみなされる場合があります。

(2) 生成 AI の概要

ChatGPT 等の対話型生成 AI は、ある単語や文章の次に来る単語や文章を推測し、「統計的にそれらしい応答」を生成するものです。回答は誤りや事実と異なる内容を含む可能性が常にありますので、あくまでも「参考の一つに過ぎない」ことを十分に認識し、

真偽を確かめること（いわゆるファクトチェック）を行い、最後は自分で判断することが必要です。

(3) 生成 AI ツールの利用規約

例えば、ChatGPT を利用できるのは 13 歳以上で、18 歳未満の場合は保護者の同意が必要です。利用する際には利用規約を確認し、遵守してください。

(4) 情報の保護

生成 AI に入力した個人情報やプライバシー情報、機密情報が、生成 AI の機械学習に利用されることがあり、生成 AI の回答として出力されるリスクがあります。

(5) 著作権

他人の著作物の複製やアップロードを行う場合には、原則として著作権者の許諾が必要です。また、生成 AI から生成されたものが他人の著作物と似ている創作的表現を含む場合などは、著作権の侵害となり得るので注意してください。